



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）池田 浩
問合せ先責任者 （役職名）財務部長 （氏名）塩津 康司 TEL 078-685-5630
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月3日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	45,868	0.9	4,597	1.1	5,075	18.4	3,870	△36.5
2025年3月期中間期	45,451	8.1	4,548	9.9	4,286	△23.6	6,091	69.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,141百万円（－％） 2025年3月期中間期 △394百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	137.45	—
2025年3月期中間期	214.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	130,722	98,311	75.2
2025年3月期	128,161	95,786	74.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 98,311百万円 2025年3月期 95,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	90.00	—	96.00	186.00
2026年3月期	—	90.00			
2026年3月期（予想）			—	96.00	186.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	89,000	△1.7	8,600	△3.7	8,600	△6.1	6,800	△24.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細については、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	31,104,198株	2025年3月期	31,104,198株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,930,997株	2025年3月期	2,957,787株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	28,159,794株	2025年3月期中間期	28,378,295株

(注) 2026年3月期中間期及び2025年3月期の期末自己株式数並びに2026年3月期中間期の期中平均株式数 (中間期) の算定上控除する自己株式数には、「株式付与E S O P信託口」が保有する当社株式が含まれております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や関税政策の影響で不透明感が強まり、主要国の成長率は軒並み鈍化しました。インフレは一部地域で落ち着きを見せつつも、米国の関税政策や各国の金融政策の方向性の不透明さなど、政策面での不確実性に加え、ウクライナ情勢や中東の緊張など地政学的リスクも依然として懸念されており、今後の見通しも予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような環境のなか、変化にぶれない強い企業体質の確立を進め、2030年度の「ありたい姿」の実現に向け、2024年度から2026年度までの3年間を計画期間とする「'24中期経営計画」を2024年5月14日に公表いたしました。当該期間を成長加速期間として収益性、資本効率性、設備投資額、株主還元、ESGの各々にKPIを設定し、これらの達成に向け取り組んでおります。

当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高45,868百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益4,597百万円(前年同期比1.1%増)、経常利益5,075百万円(前年同期比18.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、3,870百万円(前年同期比36.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト]

自動車部品分野では、売上高が減少しました。新車向け電動ユニット(EPSなど)駆動用ベルトの販売は堅調に推移しましたが、補修向けの販売が低調に推移したことから、前年同期を下回る結果となりました。

産業機械分野では、売上高が増加しました。伝動ベルトの販売が農業機械、射出成形機、ロボット向けの需要復興により増加しました。また、樹脂コンベヤベルトの販売も物流倉庫や食品工場向けで順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14,744百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は3,520百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

[海外ベルト]

自動車部品分野では、前年同期並みの結果となりました。四輪車向け電動ユニット(EPSなど)駆動用ベルトや、電動二輪車向け後輪駆動用ベルトなどの電動化対応製品の販売は堅調に推移しました。一方で、米国市場の多用途四輪車向け製品は、顧客の生産調整の影響を受け、販売が低調となりました。

産業機械分野では、売上高が増加しました。農用市場における新製品の投入や新規顧客の獲得が奏功しました。また、東南アジアでは市中在庫の調整が進み、解消に向かっていきます。

以上の結果、当セグメントの売上高は24,701百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は2,119百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

[建設資材]

建築分野向けでは、施工現場の人手不足の影響を受け、売上高が減少しました。土木遮水分野向けでは、前年同期に比べ大型の工事物件が少なかったことから、売上高が減少しました。土木防水分野向けでは、浄水場関連の工事物件が寄与し、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3,424百万円(前年同期比8.1%減)、セグメント利益は90百万円(前年同期比67.9%減)となりました。

[その他]

報告セグメント以外のその他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、仕入商品などが含まれております。電子材料分野では、半導体及び電子部品向けの導電性ペースト材の新規用途の開拓や新規顧客の獲得が奏功し、売上高が増加しました。

その他の売上高は2,998百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益は178百万円(前年同期比35.5%増)となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。

なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末は、流動資産が938百万円減少、固定資産が3,500百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比2,561百万円増加の130,722百万円となりました。

負債は、流動負債が134百万円増加、固定負債が98百万円減少したことから、前連結会計年度末比35百万円増加の32,411百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が1,162百万円増加、その他の包括利益累計額が1,271百万円増加したことから、前連結会計年度末比2,525百万円増加の98,311百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の74.7%から75.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,584	30,211
受取手形、売掛金及び契約資産	18,983	19,915
商品及び製品	16,803	16,393
仕掛品	3,767	3,595
原材料及び貯蔵品	4,623	4,482
その他	1,583	1,785
貸倒引当金	△57	△32
流動資産合計	77,289	76,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,600	26,991
減価償却累計額	△17,270	△17,525
建物及び構築物(純額)	9,330	9,466
機械装置及び運搬具	52,840	54,230
減価償却累計額	△42,762	△43,637
機械装置及び運搬具(純額)	10,077	10,592
工具、器具及び備品	16,672	17,147
減価償却累計額	△14,392	△14,835
工具、器具及び備品(純額)	2,280	2,312
土地	4,016	4,027
リース資産	1,924	1,920
減価償却累計額	△424	△490
リース資産(純額)	1,499	1,429
建設仮勘定	5,024	6,571
有形固定資産合計	32,227	34,400
無形固定資産		
ソフトウェア	346	635
のれん	65	53
その他	328	50
無形固定資産合計	741	740
投資その他の資産		
投資有価証券	16,189	17,487
繰延税金資産	1,228	1,249
その他	494	504
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	17,903	19,232
固定資産合計	50,872	54,372
資産合計	128,161	130,722

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,646	9,599
短期借入金	2,303	2,303
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払金	3,211	3,369
未払法人税等	1,363	1,347
賞与引当金	841	1,149
製品保証引当金	192	197
その他	3,211	2,936
流動負債合計	21,768	21,903
固定負債		
長期借入金	2,000	1,500
長期末払金	150	103
繰延税金負債	5,945	6,253
退職給付に係る負債	1,501	1,658
資産除去債務	312	305
株式給付引当金	72	109
長期預り保証金	393	360
その他	231	216
固定負債合計	10,606	10,507
負債合計	32,375	32,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,293	2,332
利益剰余金	71,042	72,205
自己株式	△5,960	△5,907
株主資本合計	75,526	76,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,949	10,811
為替換算調整勘定	9,816	10,226
退職給付に係る調整累計額	493	493
その他の包括利益累計額合計	20,259	21,531
純資産合計	95,786	98,311
負債純資産合計	128,161	130,722

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	45,451	45,868
売上原価	31,275	31,716
売上総利益	14,176	14,151
販売費及び一般管理費	9,627	9,553
営業利益	4,548	4,597
営業外収益		
受取利息	225	207
受取配当金	258	303
その他	164	151
営業外収益合計	648	662
営業外費用		
支払利息	24	25
固定資産除却損	210	105
為替差損	648	0
その他	28	53
営業外費用合計	911	184
経常利益	4,286	5,075
特別利益		
投資有価証券売却益	3,402	369
移転補償金	701	—
特別利益合計	4,103	369
税金等調整前中間純利益	8,389	5,445
法人税等	2,298	1,575
中間純利益	6,091	3,870
親会社株主に帰属する中間純利益	6,091	3,870

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,091	3,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,395	861
為替換算調整勘定	△1,092	410
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	△6,486	1,271
中間包括利益	△394	5,141
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△394	5,141
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

中間連結会計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,374百万円	2,115百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,204	24,534	3,726	42,465	2,986	45,451	—	45,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,016	1,082	5	8,104	614	8,718	△8,718	—
計	21,220	25,616	3,731	50,569	3,600	54,170	△8,718	45,451
セグメント利益	4,209	1,766	282	6,257	131	6,389	△1,840	4,548

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,840百万円には、セグメント間取引消去152百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,993百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,744	24,701	3,424	42,869	2,998	45,868	—	45,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,581	936	0	7,518	883	8,402	△8,402	—
計	21,325	25,637	3,424	50,388	3,882	54,270	△8,402	45,868
セグメント利益	3,520	2,119	90	5,731	178	5,909	△1,311	4,597

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,311百万円には、セグメント間取引消去642百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,954百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。